

The 35th Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society (IECON 2009) November 3 – 5, 2009, Porto, Portugal

2009年11月3日から5日までの3日間、ポルトガル共和国ポルト市 Alfandega Congress Center において IECON2009 が開催された。今年 35 回目を迎える IECON は、IEEE Industrial Electronics Society (IES) が主催する国際会議の中で最も大規模なものであり、パワーエレクトロニクスから信号処理、メカトロニクスなど非常に広範囲の研究分野に関する会議である。また、昨年に引き続き The 3rd IEEE International Conference on E-Learning in Industrial Electronics (ICELIE 2009) と同時開催された。

今回の Technical Program は 7 つの Technical Track と約 30 の Special Session で構成された。投稿された全論文の中から 761 件が採択され、そのうち 629 件が Oral Session, 132 件が Dialogue Session において発表された。また Plenary Session が 1 日 1 件ずつ合計 3 件行われたほか、開催日前日の 11 月 2 日には 7 つの Tutorial および IES Industry Forum が行われた。

1 日目の午前に行われた Opening Ceremony では、IES President である慶應義塾大学 大西公平教授から「IES は非常に幅広い分野をカバーしている学際的な Society である。そのバラエティに富んだ Industrial Electronics をぜひ満喫していただきたい。」との開会のあいさつがあり、3 日間にわたる IECON2009 がスタートした。Opening Ceremony 直後の Plenary Session 1 では、Intel Digital Enterprise Group の Pranav Mehta 氏による「Unleashing the Embedded Internet」と題した講演が行われた。講演では、インターネットやネットワーク技術の現在までの開発経緯および将来の方向性と、その流れの中で組み込みシステムが果たす役割などについて興味深い発表がなされた。2 日目昼の Plenary Session 2 では、National Cheng Kung University (台湾) の Yonhua Tzeng 教授による「Nano Impacts or Great Nano Impacts」と題した講演が行われ、ナノテクノロジーおよびナノサイエンスの現状と、さまざまな研究分野および産業界における将来的な発展の可能性についての発表がなされた。3 日目昼の Plenary Session 3 では、EFACEC (ポルトガル) の Pedro Silva 氏による「Electric Vehicle Charging Infrastructures」と題した講演が行われ、電気自動車とその周辺技術としてのさまざまなインフラストラクチャの現状や、そのスマートグリッドなどとの関連における展望について発表がなされた。いずれの Plenary Session も非常に興味深く、熱心な意見交換が行われていた。

2 日目夜の Conference Dinner では、IES 各賞の授賞式が行われ、IES で最も権威のある賞である Dr.-Ing. Eugene

Mittelmann Achievement Award が Budapest University of Technology and Economics の Istvan Nagy 教授に授与された (写真 1)。授賞式終了後には音楽演奏とダンスが披露され、参加者を楽しませていた (写真 2)。

会議全体を概観すると、開催地であるポルトガルをはじめヨーロッパ各国の参加者が多かったことに加え、日本からの参加者の多さが目を引いた。これは日本における当該分野の研究活動が非常に活発であることを象徴する光景であった。Technical Program においては、再生可能エネルギーや電気自動車などエネルギー関連のセッションや発表の数が増えており、エネルギー問題の世界における注目度の高さがうかがわれた。また、開催地であるポルト市は、市街地がポルト歴史地区として世界遺産登録されている美しい港町であり、参加者はその景観や文化を満喫していた。

36 回目を迎える来年の IECON2010 はアメリカ合衆国アリゾナ州 Glendale において 11 月 7 日から 10 日にかけて開催され、本年同様 ICELIE との同時開催となる予定である。



写真 1 Istvan Nagy 教授と大西公平教授



写真 2 Conference Dinner における音楽演奏とダンス

名取 賢二 (青山学院大学)
(平成 21 年 11 月 30 日受付)